

若宮神社 通し物

10月9日、町無形民族文化財に指定されている若宮神社（道山弘人宮司・辺田見）の伝統行事「通し物」が行われました。若葉保育園の子ども神輿を先頭に、少女2人が打ち鳴らす太鼓と三味線の音に合わせ、古謡を合唱しながら氏子や消防団員など約100人の行列が町中心部を練り歩きました。200年以上続くこの行事は、1732年（享保17年）の御船川大洪水で流された御神体を、氏子たちが行列をつくり約9㌦離れた嘉島町まで迎えに行ったことが起こりと伝えられています。



太鼓を打ち鳴らす宮本帆花さん（左）と本田楓香さん（右）



笛や太鼓に合わせ神楽を舞う上野陽色さん（北木倉）

四宮神社 秋季例大祭

10月9日、四宮神社（松崎保邦宮司・北木倉）で秋季例大祭が行われました。例大祭とは神社で年一回行われる祭祀のことで、四宮神社では毎年10月9日に行われています。神楽は肥後神楽「式神楽」「地鎮」と乙女舞「豊栄舞」「浦安舞（扇・鈴）」の二部構成。五穀豊穡や家内安全、健康を願い、小学生から大人までの四宮神社神楽保存会（松崎邦寿会長・18人）による神楽が奉納され、訪れた見物客は舞に魅入っていました。



各地で稲刈り

10月は町内各地で、児童や園児が稲刈りを体験しました。

9日は滝尾小学校（河原邦博校長・77人）5年生14人が、上田幸人さんの田んぼで稲刈りを体験しました。

16日は若葉保育園（本田恵美子園長・145人）年長児30人が、福島則義さんの田んぼで稲刈りを体験しました。園児たちは福島さんに稲の刈り方を教わりながら一生懸命稲を刈りました。

22日は御船小学校（本田尚一校長・323人）3年生63人が、田代地区の地域で管理する交流田で、上田代営農組合に加入する約50人の手ほどきを受けながら、稲の刈り方や、刈った稲をコンバインから袋へ移す作業を体験しました。

25日は、上野地区で都市部と山間部の交流を目的に、熊本市内の子育て支援団体と地元の農家が稲刈りをおして交流を行い、32人が参加しました。



1_刈り取った稲を運ぶ若葉保育園の園児 2_真剣に稲を刈り取る滝尾小の児童
3_刈り取った稲を持って脱穀作業を待つ御船小の児童
4_幼稚園から中学生までが参加した上野地区の稲刈り

地域のつどい

10月3日、町カルチャーセンターで上益城郡知的障害者福祉連絡協議会主催の「第21回地域のつどいインみふね」が開催されました。このイベントは知的障がいがある人と地域住民との交流の場を設けることにより、社会参加や社会自立を促進できる環境整備の充実に目的に開催されています。当日はステージアトラクションで演奏や踊りが披露されたほか、ホワイエでの展示販売も行われ、会場は賑わいを見せました。



ひまわり学園の「ハロウィンナイト」



二日県庁跡を興味深く眺める参加者たち

歴史学習会

10月6日、「御船での歴史学習会」が開催され、歴史などに興味のある町内外の64人が参加しました。学習会はいくまもと面白観光ガイドの永田幸一さんが企画。甲斐宗運が居城していたと言われる御船城跡の城山公園から、西南戦争の「御船の戦い」で薩将永山盛弘が自刃した場所など、600mの行程を歩きました。道中では御船に存在する石橋の魅力や、御船町にゆかりのある宮部鼎蔵などのエピソードなどが語られ、参加者は楽しく御船の歴史を学びました。

全国・九州ゲートボール大会へ出場

広島県で開催された、文部科学大臣杯「第31回全日本ゲートボール選手権大会」（御船高木チーム出場）と、宮崎県で開催された「第37回九州ゲートボール大会」（御船七滝チーム）へ出場する選手が10月6日、藤木町長へ大会出場の報告を行いました。選手は下記のとおりです。（敬称略）

- 御船高木チーム ①中面勲②中村友幸③霍田啓臣④南部治男⑤木村定徳
- 御船七滝チーム ①岩永英徳②山下巖③尾前信男④西村雄司⑤阪本一弘



大会出場の報告を行った選手たち

おばけカボチャづくり

10月8日、町内小中学校の用務員7人が、御船小学校でハロウィンの季節にあわせた「おばけカボチャ」づくりを行いました。昨年のハロウィンで使ったカボチャの種を小坂小学校の畑に植え、収穫できたカボチャを使用。カボチャに顔を描き、悪戦苦闘しながらも丁寧にくり抜かれたおばけカボチャは、1つ1つ味のある顔に仕上がりました。おばけカボチャは町内各小中学校に飾られ、子どもたちも大きいおばけカボチャを見て、嬉しそうな様子でした。



一列に並ぶおばけカボチャ！さまざまな表情があります